

議会だより



奥出雲町

見て、見て
わたしのプレー！



馬木小3年親子会



R元年 7月

注
目
記
事

- 町議会 新体制でスタート …… 2
- 玉峰山周辺を町民の森に！ …… 4
- 9人が町政を問う …… 7
- 木次線活性化促進議員連盟設立 …… 16

新体制スタート!!

町民との対話を重視し、 活発で開かれた議会を!

5月14日の臨時会にて議長に就任いたしました。過疎化、少子高齢化など本町を取り巻く環境は急速に悪化の方向に向かっており、国、県、地方の限られた財源の中で、本町のまちづくりは一層厳しくなってくると思われまます。

町議会もこのような時代を深く認識し、町執行部とともに英知を絞って豊かで住みよいまちづくりを目指し、誠心誠意努力してまいります。

また議会運営にあたりまして各委員会を活性化させ、町民の皆様との対話を大事にし、親しまれ信頼される議会となりますよう、議員全員新たな気持ちで努めてまいります。

町議会に対しましてこれまで以上にご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



議長
藤原 充博

元号が令和となり初の臨時会は5月14日に開催し、議会申し合わせ事項により2年に一度の人事構成の改選を行いました。

議長には藤原充博議員が7票を獲得し当選、副議長には内田精彦議員が7票を獲得し当選しました。ともに初の就任となりました。

続いて各常任委員の選任、議会運営委員の選任などが行われ、監査委員には岩田明人議員が選出され、新しい体制が決まりました。



副議長
内田 精彦

このたびの臨時会におきまして副議長に就任いたしました。

人口減少、少子高齢化などの諸問題を数多く抱えている奥出雲町であります。その解決に向け、議会一体となって取り組み、町民の皆様の声を行政に届け、信頼される議会、また議員の職責を最大限発揮できる環境づくりにも取り組んでまいります。

私も10年間の経験を生かし、今後も議員の職責を果たしながら、副議長としての職務にあたりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和新时代に向け

◆新たな委員会構成◆

教育福祉常任委員会



教育・子育て支援・結婚支援・
社会福祉・健康保険・医療などの
調査や審査を行います。

委員	副委員長	委員長
大垣 照子	内田 雅人	
内田 精彦	田食 道弘	
藤原 和範		
土屋 武雄		
景山 利則		

総務経済常任委員会



財務・税務・防災・農林土木・商工業・
観光・道路橋梁・上下水道などの
調査や審査を行います。

委員	副委員長	委員長
岩田 明人	石原 武志	村尾 明利
内田 勇		
川西 明德		
糸原 壽之		

議会運営委員会

議会運営に必要なことを決定しています。

委員	副委員長	委員長
大垣 照子	藤原 和範	内田 勇
村尾 明利		
石原 武志		
内田 雅人		

議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員長
石原 武志	糸原 壽之	土屋 武雄
内田 雅人		
景山 利則		
田食 道弘		

議会活性化特別委員会

委員	副委員長	委員長
大垣 照子	内田 精彦	景山 利則
村尾 明利		
内田 雅人		
糸原 壽之		

局長補佐	局長	議会事務局
安部 陽子	石原 重夫	



玉峰山森林公園周辺を町民の森に

令和元年度 一般会計補正予算（第1号）

補正前予算額	①	141億8,000万円
1号補正予算額	②	9,065万円
補正後予算額	① + ②	142億7,065万円

可決

補正予算

令和元年第2回定例会は6月10日から25日までの16日間の会期で、一般会計補正予算9,065万円などの予算案5件、条例案6件、請願3件、陳情1件、報告9件、財産の取得3件など31件が上程され、慎重に審査した結果、1件の継続審査を除き、原案のとおり可決しました。

主な歳出の概要



幼児教育無償化実施
円滑化事業 838万円

幼児教育無償化に向けた
システム改修費

町民の森用地取得費
4,600万円

水源涵養及び景観・観光資源を守るため、玉峰山森林公園付近の町有林に隣接する谷奥鉄山生産森林組合所有の山林約54ヘクタール及び個人が所有する山林約6ヘクタールの合計約60ヘクタールを町が取得し、「町民の森（亀高団地）」として一体的に維持・管理を行う。



三成石原 おがさわらの里

農林漁業体験民泊等
支援事業 175万円

農泊、民泊の推進のための取組支援し
て一体的に維持・管理を行う。



Check 予算をチェック！ 質疑

質疑

上程された各会計の当初予算を、予算特別委員会と総務経済、教育福祉の各常任委員会にて4日間にわたり詳細に審査しました。その中で行われた質疑を、一部ですがお知らせします。

令和元年度 一般会計補正予算（第1号）

《町民の森取得費》

4,600万円

内田雅人委員 玉峰山一帯を取得し、観光資源として開発する構想を本気でやるなら賛成だ。高野町大鬼谷オートキャンプ場の名前も出たが、予算を通すための方便なら許されない。

総務課長 玉峰山荘から近年流行のグランピングの提案もあり、早期に検討する。予算を通すためということはない。

※グランピングとは「優雅にアウトドアを楽しむ新しいキャンプのスタイル」。

大垣照子委員 解散した組合の誰と契約するのか。ややこしい事情の山林を、なぜ今町が買わないといけないのか。

総務課長 組合は解散しているのので、清算人との折衝となる。今回の取得は玉峰山の遊歩道がある場所であり、景観を守り、誘客を図るために取得が必要と判断した。

岩田明人委員 目的が明確でない。金額的にも高い。

総務課長 玉峰山の観光資源を今後引き続き活用するために計上した。組合部分は452円、個人の部分は96円

71円と立木代であり、土地代はそう大差無い。価格は個人取得当時と同額である。

岩田明人委員 財政的にはどうか。

企画財政課長 背景や取得の理由等があり、町長の政治決断の中で可能な限りで予算措置をした。

桑原壽之委員 売買価格は売買実例や時価評価額を参考にしたか。

総務課長 その当時の取引価格を採用した。

桑原壽之委員 分取造林ではないか。

総務課長 官行造林で、農林水産省の地上権設定がある。

岩田明人委員 谷奥鉄山生産森林組合の人数は。

総務課長 組合発足時は約100名と聞いている。解散時は60名である。

大垣照子委員 他の山林の所有者から買い取り申し出があれば、すべて買うことになるのでは。

総務課長 玉峰山の頂上を含む遊歩道など、町の観光資源の要となる部分があるので、他の山林とは意味合いが違う。

《民泊支援事業費》

175万円

内田 勇委員 事業内容は。

農業振興課長 農村体験（細田観察、食文化、蕎麦栽培農作業体験）を通して、宿泊に繋げるための家屋改造や宿泊用の布団購入費等に助成する。事業費の2分の1上限20万円、3戸を予定。また、旅館業法、住宅宿泊事業法等の支援も行う。

内田雅人委員 これの財源は国の支援か。

農業振興課長 財源はふるさと応援基金からの繰入金だ。国の補助金も観光協会が活用している。

内田 勇委員 本町で農泊・民泊はどれぐらい経営されているか。

商工観光課長 農泊で1軒だ。以前は阿井の福原でもう1軒あったが今はやめている。

財産取得

- 消防ポンプ自動車1台
阿井分団第2部
- 一般廃棄物塵芥収集車1台
除雪ドーザー2台

八川・小馬木上に配備

契約締結

- 横田小学校プール改築工事請負
契約の方法 指名競争入札による
契約の金額 1億6,588万円
契約の相手 奥出雲町下横田
柳安部建設

*立ち退きと老朽化による改築で、場所も隣地に変更

議会発委

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行法が令和2年度末に失効するので、新たな過疎対策法の制定を強く要望するもの。

請願

- 玉峰山森林公園周辺地町有化について

- 主要農作物種子法等の復活について
- 後期高齢者の医療費窓口負担「原則1割」継続について

陳情

- 視覚障害者有権者への選挙公報充実について

討論

1) 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

賛成 大垣照子議員
土地取得での解散した地元組合の交渉相手が不明、請願と補正予算の同時上程はありえない。もう一方の相手先とは、通常価格の6・7倍と高い。悪しき前例になる。

反対 村尾明利議員
補正の内容は多岐にわたるが、適切な業務執行に欠かせないもの、町民の森龜高団地は玉峰山の名所や登山道、水源として大切な場所、過去の経緯から町長の政治決断だ。

賛成 内田精彦議員
補正予算のうち用地取得が半分を占める。町有地と隣接の土地はともかく、飛び地の2カ所が高価格だ。町民の森龜高団地の具体的構想もない。

反対 内田雅人議員
玉峰山一体を観光資源として開発するという町の構想に賛同する。町民に大いにメリットを生み出す今後への投資と考える。奥出雲町ならではの攻めの戦略が必要だ。

賛成 田食道弘議員
町民の森用地取得費が補正予算の半分以上を占める。執行部の説明も審議も不十分で賛否を問う段階にない。通常はありえない高単価の土地取得に妥当な理由がない。

3) 主要農作物種子法等の復活を求める請願

賛成 内田雅人議員
市場のニーズに合った品種を開発し農家の収入を増やし、日本の農作物の輸出攻勢をかけたために必要な措置だ、とする意見もある。確信が持てないまま意見書の提出は避けるべきだ。もっと研究が必要。

反対 田食道弘議員
種子法の廃止によって、民間企業での種子開発が進み、種子代金が高くなってしまふ恐れがある。米だけでなくそばなど地域に適した品種が守れない可能性が高い。

賛成 大垣照子議員
既に市販されている民間開発品種は10倍の価格だ。奥出雲町のブランド米が守れなくなる。米など主食を守るために、県は要綱でなく、条例化が必要だ。

議案のうち、賛否が分かれた議案の審議結果は以下のとおりです。

採決の結果は？

件名	結果	岩田明人	大垣照子	村尾明利	内田精彦	内田勇	川西明德	藤原和範	石原武志	内田雅人	土屋武雄	景山利則	糸原壽之	田食道弘
1) 一般会計補正予算(第1号)	可決	●	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●
2) 玉峰山森林公園周辺地町有化についての請願	採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3) 主要農作物種子法等の復活等を求める請願	採択	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
4) 後期高齢者医療費窓口負担「原則1割」負担継続を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

議長(藤原充博)は採決に加わりません。 ○:賛成 ●:反対

町政のこころを聞く

質問の一部を要約してお伝えします

質問時間は、一人30分以内
今回は9人が登壇しました。



川西 明徳 議員

質問 安全、安心の放課後児童クラブに

町長 質の確保を図る

質問 共働き家庭などの児童が放課後を過ごす学童保育、放課後児童クラブの安全、安心が揺らごうとしている。

支援員配置基準は、学童保育発展の全国的運動を受けて設けられており、基準緩和は子どもの安全に対する町の公的責任を放棄するものになりかねない。

町長 放課後児童クラブ運営は、子どもの安全や環境を含めた質の確保が重要だ。配置基準の緩和は慎重な判断を必要とする。災害や不測の事態には支援員の複数配置が欠かせない。配置基準の緩和はしない。



幼保「無償化」法案について

質問 幼保「無償化」法案は消費税増税が発端だ。

保育料はすでに所得に応じ段階的になっており、保育料が免除されている低所得世帯の恩恵はない。消費税増税分が重くのしかかるだけだ。よって、町独自の低所得世帯への恩恵を図るべきだ。

任用制度について

町長 無償化では、副食費が実費徴収となり、低所得階層は負担増になる。新たな負担が生じないよう軽減策を検討し、子育て支援の取り組みを進める。

質問 住民要望に寄り添って、住民サービスができるよう正職員を増やすべきだ。

町長 限られた資源で事業の取捨選択を進め、優先度をつけ、効率的で質の高い行政の実現に向け適正な定員管理をする。

学校再編について

町長 任用制度移行による非常勤職員の業務には、正規職員配置が必要となるものはない。

質問 学校再編は、国の政策誘導を優先するのでなく、子どもや地域を大事にした計画になっているか懸念する。



国・県の政策誘導でなく、町にとってどういう学校が必要か、統廃合ではなく新たな学校をつくる思いで議論を進めたい。



石原 武志 議員

質問

本町の初等教育の目指すところは

町長 「自らと故郷の未来を切り拓こうとする子ども」を目指す

質問 本町の学校教育で目指す子供像のビジョンは。

町長 将来この地で暮らしたいと思う愛郷心を育むことが大切。ふるさと教育、キャリア教育、学力育成の3本柱で幼稚園、学校、保護者地域が連携・協働し、それぞれの発達段階に沿った取組を進めていきたい。

質問 統合に向けた説明会、地域住民や事業者等一般の意見や声はどう反映するのか。

町長 校区ごとに保護者や地区住民と懇談会を立上げ議論したい。

質問 すぐには統合に加わらないとの意見に、延期や分校等の形式は可能か。

教育長 可能と考える。今回の再編方針では決定や命令事項でなく、今後の推移や子供たちに必要な

質問 近年減少が著しい食料品店や生活物資の販売店だが高齢者や交通弱者対策はどのようか。

町長 交通サポート券の支給や小地域サロン開催時に出張販売し好評な例があり、小売販売店には店舗の改修に係る経費補助などがある。

力、地域の未来について理解と議論をし進めるものと考えている。

要望 結果ありきで進めず、時間をかけ、地域・保護者との話し合いを充分にして欲しい。

町長 交通サポート券の支給や小地域サロン開催時に出張販売し好評な例があり、小売販売店には店舗の改修に係る経費補助などがある。

質問 秋に政府主導の商品券などの計画はあるが、一般住民を対象としたプレミアム付き商品券の発行は計画しているか。

質問 今、新しい時代に向け導入する事業は。

町長 交通サポート券の支給や小地域サロン開催時に出張販売し好評な例があり、小売販売店には店舗の改修に係る経費補助などがある。

商工業対策について

引換え場所を増やすよう検討中だ。

質問 キャッシュレス時代を迎え、行政の立場で町民を対象とした計画や事業は無いか。

町長 観光関連事業者や小売店などで導入もあり、今後増える。境港クルーズ船

寄港に合わせ観光協会も誘客するよう計画を進めている。奥出雲酒造では免税店の申請を準備中だ。

要望 ほかの自治体が注目するようなキャッシュレスの企画のなまちづくりや地域振興策を、ぜひ企画・実施して欲しい。



発行が望まれるプレミアム付商品券（昨年の交換券）

質問

将来展望が描ける職場づくりを



町長

魅力ある職場となるよう努力する

内田 雅人 議員

質問 雇用の仕方改革が必要ではないか。第3セクター、奥出雲病院、福祉会における働き方改革のそれぞれの対応はどうか。

町長 第3セクター7社は法律の趣旨や具体的内容を研修し、4月から実施している。奥出雲病院は町の職員として方針に従いながら進めている。仁多福祉会でも取り組みが進んでいると聞いている。

質問 玉峰山荘で近年新卒採用がされていない。応募もないと聞く。

保育士は9名の退職ということ。若手の退職が多いのは大きな問題だ。実状に見合った待遇になっているのか。退職者に「残業代は出な

い」と聞いたが若者がいちばん避ける就職先だ。この現状が人口減につながっている。将来展望が描けない職場が多くては若者は町から減るばかりだ。

社員の処遇改善、やる気向上につながる給与体系など、意欲・能力を存分に発揮できる職場環境をつくる雇用の仕方改革が必要だ。

町長 第3セクターでは状況に応じて異給も行っており、魅力ある会社として意欲向上と能力が生かせる職場づくりを現場長に改めて指示する。

保育士の退職は結婚や出産、異業種への転職と聞いている。様々な環境があるが魅力ある職場となるよう努力する。



2019年より順次、改正法が適用されます!

<p>1 月45時間 年360時間以内</p>	<p>2 毎年5日</p>	<p>3 同一労働同一賃金</p>
------------------------------------	----------------------	--------------------------

働き方改革の趣旨を理解し、魅力ある職場づくりからの好循環を生み出そう

質問 今までと同じ施策や努力では変わらない。この会社で将来展望が描けるのか、若者は我々と同じ先が遠い。

若手の人材確保、人口減少を食い止めるには待遇面で思い切ったことが必要だ。奥出雲町からその好循環を目指さないか。目の前の課題への対応ばかりでは人口減少は止まらない。長

期的な目で見た人材確保への投資を。

町長 第3セクターの社長として社員の処遇改善は常々思っている。できる方には処遇を引き上げるなど対応している。働いて良かったと言われる職場を目指す。

質問 将来展望が見えないバトンは受け取れない。家族を持ち幸福な家庭を築くという将来展望が描ける、就職先として選ばれる職場づくりに力を入れ、将来を担う若者を増やしていく好循環をつくることをまちづくりの大きな幹として据えて欲しい。

その他の質問

小学校跡地活用について。



質問

結婚支援体制の強化を

町長

関係団体と協議、検討していく

内田 勇 議員

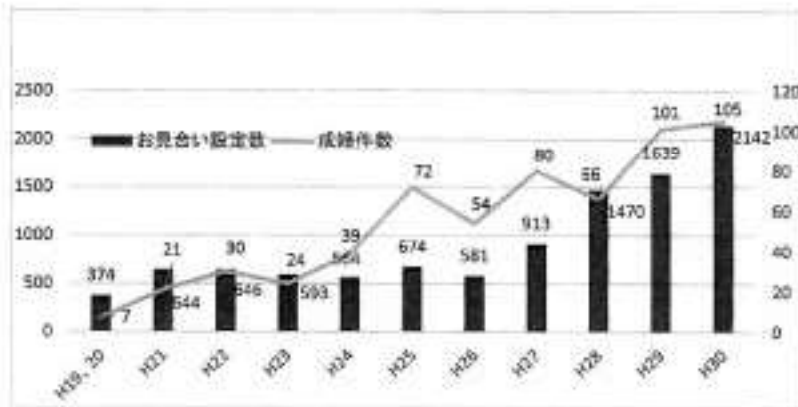
質問 しまねはっぴいこーでいねーたー、略称「はびこ」は一般社団法人しまね縁結びサポートセンターに登録された結婚を望む独身男女の相談に応じ、出会いの縁結びをするボランティアの団体である。平成19年度からスタ

ートし、平成29年度に初めて成婚件数が101件と大台を突破し、平成30年度も105件という成婚はすばらしいことであり、今年度から市町村が結婚支援員を配置した場合250万円の交付金制度ができたが活用する考

えは。
町長 昨年度から町独自に縁結び支援員を配置しているので、しまね縁結びサポートセンターや奥出雲はびこ会などと協議し検討していく。

質問 昨年12月から、しまねコンピュータマッチング、略称「しまこ」の運用が開始され、鳥根県と鳥取県の男女の出会いを県境を越えて連携して支援する全国で初めての試みだが、実施する考えは。

町長 昨年12月から、しまねコンピュータマッチング、略称「しまこ」の運用が開始され、鳥根県と鳥取県の男女の出会いを県境を越えて連携して支援する全国で初めての試みだが、実施する考えは。



「はびこ」の実績推移

町長 しまね縁結び支援センターが実施する会員制のマッチング支援システムで、専用の端末を操作し、会って見たい方を探すという新たな出会いの機会の創出につながるツールとして検討していく考えだ。

町長 特定健診の受診率は、平成30年度は36.1%であり、平成27年の39.8パーセントをピークに年々低下しており、働き盛りの40代から50代で特に低い。今年度は、AI、人工知能を活用した特定健康診査受診率

向上支援事業に取り組みたい。
過去の特定健診データ及びレセプトデータ等のAI解析により、勧奨すれば受診する確立の高い人をピックアップし、受診率向上につなげたい。
今年度から受診者に対し、利用券や、商品券を交付する。

国保の特定健診の受診率向上と報奨制度について

その他の質問

マイナンバーカードの利用促進について。

質問

森林整備の条例化は



土屋 武雄 議員

町長 森づくり条例、森林憲章等は 今後検討する

町長 森林が持つ重要性あるいは価値等が見直され、町民にとって森林をより身近な存在として育んでいこうとする機運が高まるのであれば、美しい森づくり条例あるいは森林憲章等の制定について、今後検討する。

質問 森林保全、林業振興に対する市町村の役割はますます重要になる。経済林と非経済林を区別し、後者については混交林化するなどして、生態系上も、防災上も望ましい森林に誘導する必要がある。その解決のために、森林整備（仮称）町条例を制定したらどうか。

森林整備をしないことのリスク



林地がどうなるか...
光が差し込まない
草も生えず保水力を失う

林地の荒廃により自然災害の危険性が高まる
住民生活にまで大きなリスクとなる

リスクをなくす必要がある。

質問 経営管理実施権はどのように執行されるか。本町における具体的な業者名等、選考される予定は。

農林土木課長 経営管理実施権については、意欲と能力のある林業経営者がこれの認定を受けることになっており、この認定は県が行うこととなっております。現在

のところ、想定される町内事業者としては仁多郡森林組合のみである。

質問 地域の実情を踏まえた意向調査等の具体的な進め方は。

農林土木課長 実際意向調査の実施区域をどこにするかは、特段の規定はないが、

国の手引きでは①間伐が遅れている等の森林②人工林資源が多い林班等効率的、安定的に管理ができるまともな森林③森林経営計画対象森林④森林所有者から経営管理権設定の申出があった周辺森林、これらを優先的に実施することが望ましいとされている。

人口の急減に対処するための
特異性ある地域づくりを

質問 人口急減のこの地域において、国、県、市町村の三者が、財政支援と制度的支援を組み合わせて、諸問題をできる限り克服して、人口の更なる急減を抑止し、豊かな地域づくり、人づくりを推進しなければならぬ。町長の所見を問う。

町長 子育て支援の充実、教育の魅力化、明るく元気な地域づくり、福祉の推進、インフラの整備などと施策を有機的に結びつけて取り組み、外から見て奥出雲町が明るく輝き、奥出雲に住んで良かったと思える理想とする地域づくりを目指すことが重要と考える。



質問

学校再編、時間かけ対応策を

教育長

児童への影響、考慮が必要



三成小学校建設予定地を視察

大垣 照子 議員

質問 現在行われて
いる学校再編説明会
は納得できない。3
月議会計上の5億
8,000万円は、
学校再編ではなく三
成小学校の耐震改革
予算だ。

回答 報道があり、町民の
皆さんには寝耳に水。
周知方法として手法
がまずい。町長はど
う考えているのか。

質問 我々への説明
資料と同じものを渡
したのでは。それには、
2022年4月に「仁
多・横田1校にしま
す」との記載だ。新聞
はそのまま報道して
おり、表現が悪い。
危機管理ができてい
ないのでは。

質問 来年4月導入
される会計年度任用
職員制度。改めて任
用される臨時、非常
勤職員も制度の基準
に基づき決定し、不
利益を与えてはなら
ない。

質問 導入にあたっ
て現在働く臨時、非
常勤職員の雇用確保
を。彼等は、どうな
るのかという恐怖感
がある。キチンと対
応しないと魅力ある
町にはならない。法
改正の趣旨を逸脱し
ないよう、町長、副
町長の考えを聞く。

教育長 再編方針で
2校の考え方を示し
ている。再編かそう
じゃないのか、校区
毎での決定をお願い
している。マスコミ
の理解の程度による。

町長 職務給や均衡
の原則を踏まえ検討
する。

町長 マニュアルに
より担当課、副町長
と協議、連携してい
く。

質問 高尾は本年8
月に、他地域も来年
7月までに結論を、
としているが時間不
足。義務教育学校等
では、5年〜10年か
け移行している。諸

質問 導入にあたっ
て現在働く臨時、非
常勤職員の雇用確保
を。彼等は、どうな
るのかという恐怖感
がある。キチンと出
るべきだ。

副町長 適正に施行
できるよう情報収集
し、検討して良い制
度になるよう取り組
む。

任用職員制度について



糸原 壽之 議員

今、新たな児童数減少対策を

質問

町長

次期総合戦略で取り組む



ホッケーの練習に汗を流す児童、先輩、先生、保護者の八川小学校の放課後

質問 小学校を再編するならば、方針発表と同時に自治体運営の戦略責任として、児童数を減らさない新たな対策も立てるべきだ。そして再編方針と併せて発表すべきではないか。

町長 本町はまち・ひと・しごと創生総合戦略や人口ビジョンを策定し、保育料の独自軽減化や医療費の無償化など、安心して子供を産み育てられる環境整備のほか、結婚・子育て応援課を新設し、出会い・結婚への体制強化に取り組む、ま

た子育て世代の為に住宅地の整備も行い、あらゆる方法で人口減少対策を展開している。

また、まち・ひと・しごと総合戦略は本年度が最終年度であり、来年度から次期総合戦略策定に着手するので、児童数をどう増やしていくかという面も踏まえて策定していく考えである。

再質問 来年度からでは遅い。この発表と同時にすべきではないか。

町長 まずは現状の施策をどのように推進しているか、今議会中に示す。

質問 学校校舎耐震改築の陳情さえ出されている中、また2・3年前までは再編統合のような話は無いどころか統合はしないとの町の方針であった。それがいきなり再編方針の発表、それも新聞で町民に知れ渡り、すぐに地区説明会では、行政の一貫性、継続性、不偏性に疑問を覚える。町長の考え方を問う。

教育委員会制度の改革があり、町長、教育長、教育委員による総合教育会議が新設制度化され、町長部局と教育委員会の連携が強化された。

そこで本町においても従来の計画を、総合教育会議で審議し、発表に至った。10年間にわたり再編計画を策定しながら議論が進まなかったのは、町と教育委員会の相違が大きかった。今後は、このよう

なことの無いよう、総合教育会議などで一貫性のある教育施策を行なっていく。

その他の質問

町の産業振興、日本農業遺産登録に係る経済効果、JRM次線存続の活動について。

その後国により、



内田 精彦 議員

質問 今年の奥出雲町の熱中症対策は

町長 注意喚起、施設開放、相談窓口を開設する

質問 今年度の熱中症対策の対応はどうするのか。

町長 気温の上昇時にはジョーホー奥出

雲等で注意喚起に努める。猛暑が続く時には暑さをしのぐ場所として公民館等の施設開放を行い、相談窓口を開設する。

条例と規則の違いは

質問 奥出雲町の条例と規則の違いは。

総務課長 条例は地方公共団体の区域内において適用される自治立法であり、国の法令に違反しない範囲で定める事ができるもので条例の制定には議会の議決が必要である。

条例は議会議決をするので議決後住民へ公布される。規則は議会議決が無いので住民への公布はしない。

規則については同じ考え方であるが、地方公共団体の長奥出雲町であれば町長が定めるものである。議会の議決は必要としないものである。

町有用地公募について

質問 元横田小学校講堂用地(旧アパレル工場用地)と奥出雲町高齢者福祉センター用地(旧寿山荘用地)のその後は。

町長 旧アパレル用地については応募なし。旧寿山荘については安来市内の有限会社ライフスタイルへ売却する。計画では高齢者グループホ

ームを建設し令和2年4月開所予定。

質問 元横田小学校講堂用地としてあるが施設ではないのか。

総務課長 町の財産台帳を確認した結果、土地としてはこの表現である。

質問 グループホーム建設の施設規模は。

健康福祉課長 雲南広域連合介護保険の第7期計画に位置づけられ、認知症の方が入居されるグループホームである。1ユニットが9床で、2ユニットで18床の規模である。



応募なしの旧横田アパレル工場用地

総務課長 財産台帳の名称の変更は任意でできる。と考えているので再度、類似の名称等がないかどうかも含め対応を検討する。



解体工事中の旧寿山荘

質問

学校再編の住民協議期間延長を

町長

まず協議の頻度や中身を充実させる



田食 道弘 議員



「統合しない」「長寿命化」を宣言する2町の計画書

質問 小学校再編は地域そのものの存亡にもかかわる重大な問題だ。わずか1年で住民の決断を迫っている。出雲市は計画発表後4・5年間で地元の結論を求めている。

町長 期間を長くすると、十分検討できる一方で、将来どうなるのかが決定しない間の児童や地域の不安、先を見通した計画が作成しにくいデメリットがある。まずいかに話し合いの頻度や中身を充実するような協議を先行し、検討して行くことが先決だ。

再質問 県内で人口規模が最も近い隠岐の島町、邑南町はいずれも「小中学校は統廃合しない」と宣言している。全国的に少人数教育が教育環境に適するとする大きな流れもある。

沖縄県中城村では昨年度から試験的ながらも、1年生から3年生までを15人程度の少人数級に編成している。自治体の学級編成は自由裁量が認められおり、長野県阿智村では村費で講師を雇い、複式学級を解消している。

町長 10年後、20年後に良かったと評価される施策は統廃合だ。子供達が健やかに遊び、教育を受けらうえで、数人の学校で果たして本物の教育ができるかも、地区の皆さんでしっかり議論して、方向付けをして欲しい。「もつと早く決断して欲しかった」という意見を多くの方から聞いている。

国保税のさらなる引き下げを

質問 国保特別会計の昨年度剰余金は税負担した加入者に還付すべきだ。これを原資に加え、昨年度から始めた基金取崩しに上乘せし、もつと国保税を引き下げべきだ。

その他の質問

土砂災害特別警戒区域住民等への支援、町内で居住できる環境整備、対策について。

町長 県の示した標準保険料率では後期高齢者支援分の所得割、平等割税率・額が本町より低い。現在、さらに剰余金などを考

奥出雲町議会 木次線活性化促進議員連盟設立

議員連盟設立ほか

事業内容

- (1) 体験乗車（イベント列車の実態を知る）
- (2) 木次線を日常生活に取り込む
- (3) 勉強会
- (4) 実態把握・調査活動
- (5) JR西日本への要望活動
- (6) 沿線イベントへの参加、支援
- (7) 県や関係自治体の議会への働きかけ・組織化
- (8) 国・県・市への要望活動
- (9) その他



去る6月28日奥出雲町議会は、議員全員が賛同して木次線活性化促進議員連盟を設立致しました。

三江線の二の舞とならないよう、これまででは利用促進に個々に活動していましたが、これからは奥出雲町の議会としても、沿線自治体や各種団体そして地域の住民の皆様と、また県や国そしてJR西日本とも連携交流を深め、木次線の活性化を図り、存続に繋げていこうとするものです。

会長	内田 精彦
副会長	藤原 和範
幹事長	内田 雅人
副幹事長兼会計	系原 壽之
幹事	大垣 照子
監事	石原 武志
	土屋 武雄
	川西 明德

平成30年度一般会計補正予算（第7号）

5月臨時会

補正前予算額	①	150億7,800万円
7号補正予算額	②	△5億7,100万円
補正後予算額	① - ②	145億700万円

可決

令和元年第1回臨時会は5月14日、議会の構成替えの後、平成30年度一般会計などの補正予算案9件、条例案3件、報告1件などの13議案が上程され、慎重に審議した結果、いずれも全会一致で可決しました。

補正概要

○ 地方消費税交付金	2,999万円
○ 特別交付税	4,356万円
○ 基金の取り崩しの減	
財政調整基金	△17,746万円
減債基金	△10,000万円
○ 減債基金の積み立て	2,534万円
○ ふるさと応援基金の積み立て	538万円
○ 小中学校空調設備整備事業	
小学校分	△4,381万円
中学校分	△1,966万円
国交付金交付決定等に伴う減額	

和解

○ 損害賠償請求事件

相手方 広島県北部建設事務所庄原支所

・ 損害賠償額 13万円

事故の内容

平成31年1月14日広島県庄原市西城町地内の国道314号を走行中、コンクリートの障壁に自動車が接触した。

人事

奥出雲町監査委員の任命同意

岩田 明人

平成30年度 第3セクター・土地開発公社 事業報告

株式会社 奥出雲振興

夏の猛暑や豪雨災害に伴うJRの運休・玉峰山荘の大規模改修に伴う休館などが主な要因となり赤字を計上した。

総売上高	6億617万円 (前年比 99%)
純利益	△3,203万円
《玉峰山荘》	
売上高	3億7,247万円 (前年比 95.8%)
純利益	△2,120万円
《サイクリングターミナル》	
売上高	6,432万円 (前年比 136.5%)
純利益	△155万円
《特産市》	
売上高	1億398万円 (前年比 96.3%)
純利益	△50万円
《斐乃上荘》	
売上高	6,540万円 (前年比 95.8%)
純利益	△878万円

《赤十字の職員》 木次線運休による影響とはどのような事か。

《大畑昭子職員》 トロッコ&サイクリング事業が運休により減収した。

《大畑昭子職員》 大きな赤字だ。新経営コンサルタントに分析を依頼しているとの事だが経営指導等も受けているのか。

町長 計画や経営指導を受けている。他の施設、斐乃上荘やサイクリングターミナルは今後相談していく予定だ。

内田雅人職員

サイクリングターミナルは一般人の宿泊を増やす意味で名前の変更はできないか。斐乃上荘の整備計画はあるか。商工観光課長 名前の変更は検討したい。斐乃上荘は地元メンバーを加え経営面も含め検討会の開催を計画中。

奥出雲仁多米株式会社

食味分析鑑定・国際総合部門で8度目の金賞受賞。西の横綱として名を馳せた。日本農業遺産認定を機に伝統的農業生産の継承につなげていきたい。

売上高	5億6,880万円 (前年比 96.6%)
純利益	323万円

川西明彦職員

原価額が減少し歩留まりが減少している。営業利益も減少している。対策を固める考えは。町長 1,300万円を町に寄付。500万余の利益を出し安心感をもっていった。今後中身を精査し検討していきたい。

内田雅人職員

新品種の開発や研究はしているか。農業振興課長 新品種の開発は県でも研究 중이다。改めて要望していきたい。

仁多堆肥センター

反当800kgを施肥量とし取り組む。牛糞堆肥施用による資源循環型農業推進により町内に着実に定着。更に増産体制を目指し要望に対応したい。

売上高	4,040万円 (前年比 104.6%)
純利益	18万円

一般社団法人奥出雲町農業公社

農地流動化施策を推進、集落2法人に10ha余新規集積、繁殖育成事業では平均価格は減少したが販売額は大幅増とした。

売上高	1億3,519万円 (前年比 117.5%)
純利益	1,006万円

有限会社奥出雲椎茸

秋から全量雲太一号に切替え、需要に備えたが夏場の異常高温で収量の確保ができなかった。冬季以降収量は安定した。

売上高	9億2,535万円 (前年比 84%)
純利益	△5,924万円

株式会社舞茸奥出雲

大型企業との競合を避け、直接販売で概ね安定した販売価格を維持。利益率の高い直売所での販売を大きくした。

売上高	2億56万円 (前年比 117.9%)
純利益	974万円

奥出雲町土地開発公社

事業収益	1,994万円
純利益	357万円

われら おくいずもん



国蝶オオムラサキと
藤ヶ瀬城跡を守る会

「再びオオムラサキの乱舞が見たい」そんな地域の思いから活動が始まりました。青紫色の美しい羽をもつオオムラサキ。全国的に姿を消しつつあり今は準絶滅危惧種に指定されています。

奥出雲町で分布している横田地区六日市と藤ヶ瀬城跡一帯も例外ではありませんでしたが、地元住民を中心に4年前から環境整備や保護活動を始められ、徐々に成果が出てきているようです。

会員も20人となり、子どもたちも交えて放蝶会や観察会なども開催され、学習への活用に加え、地元住民の活動を子どもたちが知る機会となっています。

また、他の地域や団体との交流も生まれ、奥出雲町の歴史と自然の豊かさをPRする機会にもなっているようです。

「藤ヶ瀬城跡一帯も併せて保存、整備して、歴史的文化的遺産とかつての公園を復活させたい」と、会長の岸本さんはおっしゃっています。

いつか思い描く形が実現するよう願っています。

議会を 傍聴しませんか

○次回の定例会は

6月です。

○詳しくは議会事務局に
お尋ねください。

TEL (08554) 5212678

議会からのお願い

○議会や議会だよりへのご意見、ご感想、また「まちの元気グループ」へのご応募もお待ちしております。

議会事務局までお気軽にお寄せください。

《あて先》

〒699-1862

奥出雲町横田1037

奥出雲町議会事務局

FAX (08554) 5212342

Eメール: gikai@town.okuzumo.shimane.jp

編集後記

令をもって和となす、の新元号を迎えた時を同じくし、奥出雲町議会も、編成替えにより新体制となりました。

新元号にあやかり、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育ち、急速に進む少子高齢化を背景に「変わるべきは、変わっていかねければならない」と改革精神の必要性もあります。

今回、議会活性化特別委員会もスタートし、「町民の声を聴く会」を実施します。議会活動の情報を住民の皆様様に正確に伝達することの使命は、大切なことと存じます。

まだまだ勉強をし、本特別委員会の責務に一生懸命頑張る所存です。(土屋)

議会広報特別委員会

- 委員長 土屋 武雄
- 副委員長 糸原 壽之
- 委員 石原 武志
- 委員 内田 雅人
- 委員 景山 利則
- 委員 田食 道弘